



風っ子・環境キャンペーン



作業を終え、ヤリタナゴを囲んで爽やかな笑顔を見せる参加者。右がきれいになった環境水路

藤岡市

環境水路内の除草で ヤリタナゴを守る

やりたなごの会

ヤリタナゴは、県内にすむ唯一の在来タナゴ類。卵を生みつけるマツカサガイ、マツカサガイの幼生が寄生するホトケド

やりたなごの会では、10年ほど前からヤリタナゴがすむ矢場地区にある環境水路の維持管理を続けています。ここ数年は、地元の高校や団体も作業に参加しています。秋の活動では、土地改良区の関係者、市職員、藤岡工業高校の生徒15人を含む30人が、環境水路内の除草作業をしました。除草すると、田んぼに雑草の種がこぼれ落ちるのを防げたり、大水の時に川がせき止められつらくなったりします。また、常に水が流れると、川の中の酸素が保たれ、生き物がすみやすくなるそうです。活動を続けたことで「水生昆虫を含む生物量が増えました」と代表の掛川優子さんはうれしそうに話します。

作業終了後は、網を持って川の中の生き物探し。たくさんのかいや魚が見つかりました。このときにヤリタナゴの競争相手である親魚は捕食者になるカワムシを別の水路に移し、水路のいろいろな動物を食べてしまうアメリカザリガニなどを駆除。このよ

身近にできるエコ活動

お風呂に入るときは、前の人と時間をあけずに入りましょう

だんだん寒くなってきて、お風呂の暖かさが気持ちいい季節になってきましたね。お風呂に入るとき、前の人と時間をあけて入っていませんか？時間が経てば経つほど、お風呂の温度は低くなり、もう一度暖めるためには追い炊きやお湯を足す必要があります。そうすると、無駄なエネルギーが必要になり、その分二酸化炭素を多く排出することになってしまいます。前の人がお風呂からあがったら、時間をあけずに入ることが心がけましょう。

群馬県環境サポートセンター



(写真上)ヤリタナゴ。オレンジ色の発色(婚色)が見られるのがオス(写真下)ホトケドジョウ

うな地道な活動を続けた結果、今ではヤリタナゴの数が増えてきたそうです。この日は、大小合わせて18匹が確認できました。原田大誠さん(3年)は「草刈りは茎が硬くて大変でした」と、森山創太さん(同)は「思った以上に生き物がいました」と話していました。3年連続で参加している茂木那弥さん(同)は「みんなのために喜んでくれるのがうれしい」と話していました。

やりたなごの会

かがわゆうこ
掛川優子代表 10人
http://kawagera.net/yaritanago/yaritanagoindex.html
Mail yaritanagonokai@gmail.com

子どもたちが自然の中で野生の生物と遊べる小川を作ろうと活動中。「輝く子どもの顔があふれる郷土 藤岡」の創造を目指しています。



ヤリタナゴって
かわいいね

群馬県のマスコット
「くまちゃん」
許諾第2019-110878号

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

トヨタ モビリティパーツ株式会社 群馬支社

Honda Cars 群馬

KADOYA 角屋工業株式会社

日産サテオ群馬

富士スバル

Uキューケーホーム(株)浦野建設

ニューサンピア

JA全農ぐんま

群馬トヨペット

カネコ種苗株式会社

上武印刷株式会社

トヨタレンタリース群馬

総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ